

(案)

分野	コミュニティ		
<p>現状と課題(A欄)</p>	<p>「目指すべきまちの姿」に進んでいくための基本的な方向性など(C欄)</p>		
	<p>(現基本構想の進捗検証・評価)</p>	<p>(基本的な取組の方向性)</p>	<p>(具体的な手段・方法、取組など)</p>
<p>○ 区は人口増が見られる一方で、地域のつながりが希薄化している。そのため、社会的孤立によって必要な人の支援につながらない懸念が高まることから、人と人との支えあいがより一層重要となる。</p> <p>○ 福祉の全ての課題を行政が担うことは難しい。地域の人たち同士でどう支えあうかが課題。</p> <p>(今後の社会環境や区民生活・意識の変化等の新たな視点)</p> <p>○ 人と人との支えあいを充実するためには、「共生」・「横串」がキーワードとなる。</p> <p>○ 地域共生社会の実現に当たっては、自助、公助のほかに、日常的な互助(共助)が必要。</p>	<p>《目指すべきまちの姿①関連》</p>		
	<p>○ 「人生100年時代」に、自分らしく生き、誰もが取り残されない社会をつくるため、各世代が自由に利用・交流できる居場所の整備を図る。</p> <p>○ 多世代の方、特に若者が地域活動(町会等)に参加する仕組みづくりを進める。</p> <p>○ 高齢者の居場所づくりは、社会的フレイルの予防につながる。そこに通って健康になるとともに、ボランティアなどによる支えあいを広げる。</p>	<p>○ 町会・自治会などのこれまで培ってきたコミュニティと、地域の中で新たに生まれてくるコミュニティを融合させる取組を進める。</p> <p>○ 新たな地域コミュニティ施設である「コミュニティふらっと」を引き続き計画的に整備し、多世代の交流や社会参加の機会を拡充する。</p> <p>○ 増加する一人暮らし高齢者などを支えあい、助けあうため、町会の活性化を図る。</p> <p>○ 高齢者の居場所を充実させ、自然とコミュニティが形成されるよう促していく。</p> <p>○ ベビーカーや車いすなどをリユースするプラットフォームを充実させ区民同士による情報交換や相談のほか、支えあいを広げる仕組みをつくる。</p>	
<p>目指すべきまちの姿(B欄)</p>	<p>《目指すべきまちの姿②関連》</p>		
<p>(目指すべきまちの姿)</p> <p>① 誰もが役割をもって自分らしく生き、取り残されることのないコミュニティ(居場所)が豊かな共生のまち</p> <p>② コミュニティの力で、地域で安全・安心に生活できる絆と互助のまち</p> <p>③ ICTの活用による「バーチャルなつながり」を含め、多種多様なコミュニティが形成される活力のあるまち</p>	<p>○ 社会的孤立は家族がいても起こり得る。そうした人々を埋もれさせないために、コミュニティ醸成の取組を一層推進する。</p> <p>○ 杉並区への郷土愛や帰属意識を高める取組を通して、互助(共助)の力を高める。</p> <p>○ 隣組が声を掛けあうなど、住民同士のコミュニティを取り戻していく。</p> <p>○ 例えば外来以上在宅未満といった患者を支えるには、まちの人の力が大事で、いわゆる隣組によるコミュニティを取り戻していく。</p> <p>○ 共生社会には、同じ時間と場所を共有することで生まれる絆や連帯感が必要。そうした場所を増やすことで、障害の有無に関わらない、区民同士の連帯感を育んでいく。</p>		
	<p>(目指すべきまちの姿を設定した考え方など)</p> <p>○ 多様な人を受け入れられる社会(多世代が共生するエイジフレンドリーコミュニティや多様性を意味するダイバーシティなど)は、誰もが住みやすいまちにつながる。(①・②)</p> <p>○ コミュニティは「地域＝空間」といった地理的なつながりだけでなく「人と人とのつながり」にも着目して考える必要がある。今後は、一人一人が社会的役割を持ち、人とつながり、認めあう共生社会をつくる視点が重要。(①・②)</p> <p>○ SNSが発展している中で、リアルなコミュニケーションがどこまで復活できるか。また、孤立化やコミュニティには程よい見守りが必要なため、デジタル化と関係してくる。(③)</p>	<p>《目指すべきまちの姿③関連》</p>	
<p>○ 10年後を見据えると、地域課題等に係るデータ化(見える化)が大きなキーワードになることから、こうした情報を基にした区民等とのコミュニケーションや、連携・協働の取組を進めていく。</p>		<p>○ 「リアルなつながり」に加え、ICTを活用した「バーチャルなつながり」も整備する。</p> <p>○ 比較的多くの人が利用している「LINE」を活用して、多様な人たちがコミュニケーションできる環境整備を図る。</p>	